

御殿場看護学校入学式

桜の咲き誇る暖かな春の日差しの下、看護学校の入学式が4月7日に市民会館で行われ32人の新入生が入学することになりました。医師会長は看護学校の校長も兼ねており、毎年この時期、卒業、入学の挨拶をしなければなりません。8年目ともなると同じような激励の文章になりますが、今年は英国の実業家アニータ、ロディックの座右の銘「年をとってますます過激になる」を引用して、年齢にかかわらず、なんでも過激に物事に対処することが若さを保つと話しました。自分自身、もう年だから、と受け身になりそうな気持ちを奮い立たせようとの思いを込めてのあいさつでした。

さて蔓延防止が解除されたものの全国も御殿場市も一向にコロナ感染が収まりません。他方米国では全米オープンのTVを見てもマスクする人などほとんど見られないことから、コロナと共生していくつもりなのかと推測してしまいます。他国はともかく、感染したらまだ10日間の休養を余儀なくされる日本では、各医療機関においては慎重の上にも慎重な感染対策が必要な状況が続いています。